

日本におけるモーニングスター・アワード 2025 年受賞ファンド発表！

“Morningstar Awards for Investing Excellence Japan 2025”

2025 年 2 月 19 日、日本発

独立系大手投資調査会社の [Morningstar](#) (Morningstar, Inc., Nasdaq: MORN) は、本日、日本における 2025 年の “Morningstar Awards for Investing Excellence” (モーニングスター・アワード・インベストイング・エクセレンス) の部門別ファンド・アワードの受賞ファンドを発表いたしました。この賞は、長期にわたって、これまで投資家に貢献し、今後も競争力のあるリスク調整後リターンを提供できると、モーニングスターのマネジャーリサーチ・チームが考えるファンドや運用会社を表彰するものです。

モーニングスター・アワードは、部門別に優れたファンドを選出する Morningstar Category Awards (部門別ファンド・アワード)、優れたラインアップを有する運用会社を選出する Morningstar Asset Manager Awards (運用会社アワード) の 2 種類があります。

モーニングスター・ジャパンのマネジャーリサーチ部長の元利大輔は、次のように述べています。「この賞は、モーニングスターのマネジャーリサーチ部門が、長期的に高いリスク調整後リターンを実現できると考えるファンドや運用会社を表彰するものです。マネジャーリサーチ部門ではモーニングスター・メダリスト・レーティングを用いて、各国のファンド市場において受賞対象ファンドを厳選しています。日本の投資信託市場は昨年の NISA 拡充以降、多額の資金が流入していますが、その多くは一部の株式ファンドに集中しており、リスクの偏りが懸念されています。今回のアワードでは、投資家が分散投資を行う上でコアとなりうるファンドを 5 つの部門から選出しました。このアワードが、今後の投資家のファンド選びの一助となることを期待します。」

2025 年の日本における部門別ファンド・アワードの受賞ファンドは以下の通りです。なお、2025 年 3 月 11 日に日本で開催する授賞式にて、部門ごとの以下 3 ファンドより、1 ファンドを最優秀ファンド、2 ファンドを優秀ファンドとして表彰いたします。また、同授賞式にて運用会社アワードの発表ならびに表彰も行います。

部門	受賞ファンド(運用会社名 50 音順)
日本株式	One 割安日本株ファンド(年 1 回決算型) (アセットマネジメント One)
	JPM ジャパンマイスター (JP モルガン・アセット・マネジメント)

	<p>ニュー配当利回り株オープン (愛称:配当物語) (三井住友トラスト・アセットマネジメント)</p>
世界株式	<p>SBI・V・S&P500 インデックス・ファンド (SBI アセットマネジメント)</p>
	<p>eMAXIS Slim 先進国株式インデックス (三菱 UFJ アセットマネジメント)</p>
	<p>eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー) (三菱 UFJ アセットマネジメント)</p>
債券	<p>NEXT FUNDS 外国債券・FTSE 世界国債インデックス(除く日本・為替ヘッジなし)連動型上場投信 (野村アセットマネジメント)</p>
	<p>NEXT FUNDS 国内債券・NOMURA-BPI 総合連動型上場投信 (野村アセットマネジメント)</p>
	<p>ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (年2回決算型) (三菱 UFJ アセットマネジメント)</p>
REIT	<p><購入・換金手数料なし>ニッセイグローバルリートインデックス ファンド (ニッセイアセットマネジメント)</p>
	<p>フィデリティ・J リート・アクティブ・ファンド(資産成長型) (フィデリティ投信)</p>
	<p>J リートアクティブファンド(1年決算型) (三井住友トラスト・アセットマネジメント)</p>
アロケーション	<p>ダイワ・ライフ・バランス 30 (大和アセットマネジメント)</p>
	<p>三井住友・DC 年金バランス 30(債券重点型) (三井住友 DS アセットマネジメント)</p>
	<p>Smart-i 8 資産バランス 成長型 (りそなアセットマネジメント)</p>

メソドロジー

これらのアワードは、リスク調整後の中長期的なパフォーマンス実績と、運用会社に関する評価軸を含むモーニングスターによるファンドに対する将来の見通しに関する評価であるモーニングスター・メダリスト・レーティング™の組み合わせによって決定されます。メダリスト・レーティングは、金、銀、銅、中位、下位の 5 段階で設定されています。アワードの全体のメソドロジーは[こちら](#)から入手できます。

Morningstar, Inc.について

Morningstar Inc.は独立系大手投資調査会社で、北米、欧州、オーストラリア、アジアに拠点を展開しています。同社は、個人投資家、ファイナンシャル・アドバイザー、運用会社、アセット・オーナー、年金基金、債券・非上場資産に携わる機関投資家の皆様に対してさまざまなプロダクトやサービスを提供しています。同社が提供しているデータやリサーチは運用商品、上場株式、非上場資産、債券、グローバル市場のリアルタイムデータを網羅しています。加えて投資助言を行う子会社を通じて運用サービスを提供しており、その助言・運用残高は 2024 年 9 月 30 日時点で約 3,280 億ドルとなっています。同社は全部保有の子会社を 32 カ国に展開しています。さらなる情報は www.morningstar.com/company をご覧ください。また、X(旧 Twitter)のアカウントは@MorningstarInc です。

モーニングスター・マネジャーリサーチ・グループ

モーニングスターのマネジャーリサーチ・グループは、Morningstar, Inc.のさまざまな完全子会社 (Morningstar Research Services LLC が含まれますが、これらに限定されません)から構成されています。モーニングスター・マネジャーリサーチは、運用商品の戦略に対し、独立の立場からのファンダメンタル分析を提供しています。アナリストの見解は、モーニングスター・メダリスト・レーティングとして公表されます。同レーティングは、3 つの主要な評価軸 — 運用担当者 (People)、運用プロセス (Process)、運用会社 (Parent) — についてのリサーチに基づくもので、運用戦略に関するモーニングスターの将来見通しに関する分析を、それぞれの運用商品に対して金 (Gold)、銀 (Silver)、銅 (Bronze)、中位 (Neutral)、下位 (Negative) の 5 段階で評価するものです。世界中のリサーチチームが、投資商品、資産クラス、および各地域にまたがる戦略について、詳細なアナリスト・レポートを発行しています。メダリスト・レーティングは、事実の表明、信用格付け評価、リスク評価のいずれでもなく、投資判断の唯一の根拠として使用するべきではありません。メダリスト・レーティングは、将来のパフォーマンスを示唆または保証するものでもありません。本プレスリリースは情報提供のみを目的としたものであり、有価証券に関する言及は、当該有価証券の売買の申し出または勧誘とみなされるべきではありません。

報道関係者お問い合わせ先:

杉 貴子 +813 4520 2194, takako.sugi@morningstar.com